



特別紙面版

新見公立大学（NIU）学生フリーペーパー

なるたき

NARUTAKI

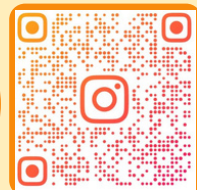
新見メディカルラー
特集号！



～だれかのために動ける力～



フリーペーパー「なるたき」の進化
大SNS時代の到来！！



これまでフリーペーパー「なるたき」は年2回の発行でしたが、デジタル発信も加わるため、2026年度から年1回の発行になります。「情報発信をパワーアップさせ、市外からの新見市の知名度・認知度をあげたい！」という声が多く、また、若者をターゲットにした媒体での、SA活動や新見市の広報が必要であると考え、新たにInstagramのアカウントを開設しました！イベントや新見の原風景などをタイムリーに投稿できるので、スピーディーな情報発信が可能になります。是非、右上のQRコードからフォローしてください！



第三回

NIIMI KIDS MEDICAL RALLY

新見子どもメディカルラリー

～だれかのために動ける力～ 新見子どもメディカルラリーに参加しました！

2025年11月30日（日）に新見公立大学で「新見子どもメディカルラリー」が開催されました！

今回は新見市内の小学生18名が参加していました。「新見子どもメディカルラリー」は応急処置を楽しく学びながら、命の大切さについて考えてもらうことを目的に開催されています。2023年から始まり、2025年で3回目です。新見公立大学の学生の他に、新見市内の医療者や新見市消防本部、新見市健康医療課など、新見市内の様々な職種の方々がボランティアとしてこのイベントの運営に参加されています。

今回の「新見子どもメディカルラリー」では、子どもたちが心肺蘇生法や119番通報、応急手当を学び、チームで協力しながら再現された救急現場での対応に挑戦しました。医療現場の訓練を子ども向けにアレンジし、体験を通して「もしもの時」の行動を身につけることができました。イベントの前半では、救命に必要な基礎知識を講義で学び、後半はその学びを活かし「素早く・的確に・協力して」対応できるかチーム対抗形式でチャレンジしました。

全体講習

胸骨圧迫、AED

全体講習で、胸骨圧迫の仕方とAEDの使い方を学ぶことができました。胸骨圧迫では、どこを圧迫すれば良いのか、どのくらい圧迫すればよいのかなど、ボランティアの方々が丁寧に子どもたちに伝えていました。ほかにも、チーム内で声を掛け合い協力している様子も見られました。AEDの使用では、教えてもらった手順通りに行い、胸骨圧迫と電気ショックを同時に行うことができました。



競技ブース

心肺蘇生

心臓マッサージをずっと続けることが難しかった…

突然の雷雨で校庭にいた校長先生が倒れてしまった！という場面で、チームのみんなと協力してAEDを使った救命処置を行いました。みんなと声を掛け合いながら、上手に対応ができました！



応急手当ブース

ある駐車場で運転操作を誤り事故にあった親子をチームのみんなと協力して手当を行っている様子です。事前に用意された道具を使い、仲間と意見を出し合いながら最善の手当てを施していました。

止血を頑張った
大変だった！



インタビュー

イベントに参加した小学生の保護者より

この「新見子どもメディカルラリー」を通して、子どもの新たな一面を見ることができ嬉しかったです！今回の体験を生かして、実際の場面で心肺蘇生や応急手当ができればいいと思います！

優勝チーム 思誠小学校6年生チーム

優勝できて嬉しいです。チームのみんなと協力しながら、楽しく活動できました。応急手当は、最初はとまどったり迷ったりしたけど、今日のイベントで自信につながって、すばやく考えて行動できるようになりました。今日学んだことを生かして、これからもがんばりたいです！



主催者コメント



PIONEプロジェクト 代表
医療法人 思誠会 渡辺病院 副院長
溝尾妙子さん

「新見子どもメディカルラリー」を開催するたびに新鮮な発見があり、子どもたちの姿から多くの気づきを得ています。イベントを通して、困っている人がいたら勇気を出して声をかけ、手を差し伸べることができる子どもが一人でも増えてほしいと願っています。今後もこの取り組みを年に1回、継続して開催していきたいです。活動が少しずつ新見市内に広がり、心肺蘇生や応急処置ができる子どもたちが増えていくことで、その姿を見た大人にも思いが伝わり、新見市全体の命を守る意識の高まりにつながっていくことを期待しています。

PIONEプロジェクトとは

PIONEプロジェクトは、岡山県北地域の医療人材を支えることを目的に、2014年に岡山大学キャリアセンターMUSCATのサテライトオフィスとして、新見公立大学内に設立され、新見公立大学、新見市行政とともに活動しています。主な取り組みとして、シミュレーショントレーニングなどを通じた地域で働く医療者のスキル向上や指導者の支援、医療者と地域住民をつなぐネットワークづくり、そして地域で活躍する次世代の育成を行っています。

けがの応急手当、119番

全体講習で、けがの応急手当と119番のかけ方を学びました。けがの応急手当では、出血死を防ぐため止血を最優先にすることであったり、骨折をしていた場合では、その部分が動かないように固定できるものを探して固定し、重症化を防ぐということを学びました。

119番のかけ方では、まず、落ち着いて救急車に来て欲しい場所の住所を言い、具合の悪い人の状態を見たままに伝えることが大切と学ぶことができました。このようなことをすることで救える命が増えるため、とても大切です。



腹腔鏡体験



これを使って細かいところを手術するんだ！

本物の腹腔鏡の道具を使って、何体の人形をつかめるかチームで挑戦しました。はじめは動かし方が難しく、とまどう様子も見られましたが、集中して取り組むうちに少しずつ上手になっていきました。人形をつかむことができると、「やった！」と笑顔を見せ、とても楽しそうに体験していました。

ボッチャ



投げるのが難しかった！

救命救急に関するクイズに8問チャレンジしました。クイズに正解するとボールを投げることができ、チームで得点を競い合いました。問題に正解すると「やった！」と声をあげる姿や「こうやって投げたらいよいよ！」と教える姿も見られました。

新見公立大学看護学科2年 大学生ボランティア

チームのチューターとしてイベントに参加しました。小学生と一緒に考える中で、子どもたちにとっての応急手当の難しさを知り、大人の適切な関わり方について考える良い機会となりました。

新見公立大学健康科学部看護学科准教授 山本智恵子 先生

今回は18人もの子どもたちに参加していただきました。多職種と連携することの大切さを知ること、子どもたちが少しでも医療職者を目指すきっかけになれば嬉しいです。そして、学生ボランティアたちも困っている人に勇気を出して声をかけられるようになって欲しいと思います。



君も小さなヒーローにならないか？！

地域共生推進センター SAしんぶん

地域共生推進センターSA（スチューデント・アシスタント）とは、共生社会の構築を目指して設立された「地域共生推進センター」に所属して活動している学生スタッフのことです。1・2・3部門で構成され、地域行事への参加や地域交流活動の企画・広報活動などを行っています。

今回のSAしんぶんでは、地域共生推進センターSA第2部門の主催イベントを紹介します。

SA第2部門では、NiU新見駅西サテライト(以下：駅西サテライト)を拠点に、多世代交流を目的とした駅西サテライトでのイベントの企画・運営を行っています。多くの市民が日常的に気軽に利用できる場となることを目指し、夏は夏祭り（サテフェス夏）、冬はクリスマス会（サテフェス冬）などの季節行事を開催するほか、おもちゃやハンモックを設置するなど、すべての世代が楽しみながらくつろげる空間づくりに取り組んでいます。

"サテフェス"とは、「駅西サテライト」を拠点に開催するイベントです。この名称には、「学生と地域の皆様がつながる場にしたい」「毎年恒例の行事として地域に定着させたい」、そして「誰もが気軽に呼べる呼び名にしたい」という願いが込められています。これからも地域の皆様に長く愛されるイベントを目指します。

※2023年度から実施している「夏祭り」と、2023年度から実施している「クリスマス会」の2つのイベントを2025年度より"サテフェス"へと名称を統一しました。

駅西サテライト地図



告知

2026 サテフェス夏開催

日時：8月9日(日) 15:00~20:00

開催場所：駅西サテライト

前回の「サテフェス夏」

2025年度には「サテフェス ~8月10日だよ！全員集合~」を開催し、当日は雨模様でしたが、15時から19時半まで多くの来場者でにぎわいました。ステージは録画したものを休憩所で放映し、縁日ブース・フードブース・展示ブース・ハンドメイドブースが並び会場には500人近くの人々が訪れました。にぎやかな声と笑顔が広がり、想像以上の盛り上がりを見せました。

Q：“サテフェス”のコンセプト

老若男女問わず多くの人に駅西サテライトを利用いただき、交流を通して、駅周辺を活発にすることです！

Q：去年の感想

地域の皆様と多くの話し合いを重ね「一緒に作りあげることができた」と実感でき、とても嬉しかったです！



Q：今年の注目ポイント！

今年のサテフェスでは、駅周辺を巻き込んだ多彩なブースを企画中です！ぜひお楽しみに！

Q：今年の抱負

今年度は「笑顔」「循環」「情報共有」を大切にしながら活動を続けて行きたいです！

縁日ブースでは、子どもたちが目を輝かせながら遊ぶ姿が印象的で、フードブースでは幅広い世代の方が思い思いのメニューを楽しんでいました！



編集後記

「ミニなるたき」特別紙面号を読んでいただき、ありがとうございます。本号では新見市で開催されているイベントに着目し、「新見子どもメディカルラリー」を特集しました。現役の医療関係者の方から直接お話を伺うことができ、地域に根ざした医療教育の重要性を深く実感する貴重な機会となりました。これからは、SNSを活用した情報発信をInstagramの「にいみえーる」のアカウントで、大学や地域の魅力を広報していきます。新見市と全国をつなぐ架け橋となれるよう活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

あなたの感想を
お待ちしております！

「なるたき」のさらなる発展の為に皆様のご意見・ご要望をお聞かせください♪
Instagramのダイレクトメッセージまたは右の問い合わせ先へお気軽にご意見をお寄せください！

お問い合わせ

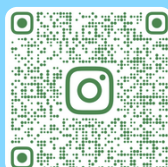
地域共生推進センター（新見公立大学）

Tel：0867-72-0634

Email:chiikikyousei@niimi-u.ac.jp

SAの情報をお届け！
フォローお願いします♪

吉備ケーブルテレビ内で
SATVを放映中！



第三回SATV
放送しました！